

トッパー全関東選手権

6月24日、時折小雨がパラつく梅雨空の下、富士山麓の山中湖で全関東選手権が開催されました。金曜から喉に痛みを感じていた野沢は、日曜の朝体温を計ると37度5分。少し悩んだけれど、せっかく伊東の佐々木さんが企画してくださったのでと長袖長ズボンのウエットスーツを持って家を出ました。

遠くは京都から琵琶湖の田村さん、蒲郡の藤田さん、東京の森崎さん、小田原の宮原さん、江の島ジュニア、伊東、沼津からの選手14名を迎えて、山梨県連の皆さんの運営の下、2～3、一時4m/s位の微風下で、むりやり3レースを実施する結果になりました。

1、2レースは下有利のスタート。2～3m/sの微風で体重78Kgの藤田選手と、56Kgの野沢がなぜかデッドヒートをくりひろげ、互いに2、1と1、2位。このままでは決着が着かないので、寒くてつらかったけれどしばらくの風待ち後、2～3m/sの風で無理やり3レース目を実施。

このレースだけは上有利のスタートで、スタート後右有利と判断した野沢はすぐにタックしたが、そこにはすでに伊東の佐々木選手がいて、その後ずっと頭を押さえられっぱなしのレース展開に。佐々木選手が本気で走るとやはり速く、コース取りも抜群にうまいのでどうあがいても前には出られない。そこであきらめの良い野沢は佐々木選手をかわす事はあきらめて、佐々木選手の取るうまいコースに乗って藤田選手の前に出る事だけに考えを切り替えました。風の振れと強弱の変化で、藤田選手との距離は離れたり縮んだりのまったく気の抜けないレース展開。

それにしても、体重56Kgの野沢が体の置場がなくて悩むほどの微風（膝を曲げっぱなしの変な姿勢でいたので、帰りの車運転中に膝の裏がつれてしまった）なのに、なんで78Kgの藤田さんはあんなに速いの？ 艇速もあるし上り角度も良い。なんなんだ？ 機会があったらじっくりとその理由を聞かせていただきたい。

最後にフィニッシュライン手前で左に行った藤田さんは、惜しくも風の無い所にはまって順位を落としてしまいました。右寄りにコースを取った野沢は、佐々木選手に大きく水をあけられながらも2位に付け、幸運にも柵から落ちてきたばた餅を手に入れました。

レース終了後本降りとなった雨の中で震えながら解装、艇の積み込み、表彰式が行なわれ、優勝カップと伊東の宇田さん提供の金目鯛、風邪の悪化というおまけも手に入れました。

寒い中運営してくださった山梨県連の皆さん、ありがとうございました。遠くから参加の選手の皆さん、お疲れ様でした。お陰で楽しい1日でした。

9月の琵琶湖で皆さんとまたお会いできるのを楽しみにしています。

沼津フリート 野沢 博